



東地区 3年間のコロナ禍での活動を経て ～見守りグッズ作成で福まちの周知を～

東地区は、近年再開発の進む創成川イーストの一角で、北海道神宮頓宮や二条市場があります。豊平川も近く、水辺を感じられながらも都心部まで徒歩圏内という利便性もあり、高層マンション建設も行われています。

東地区福祉のまち推進センターは平成 14 年に設置され、愛称は「ぬくもりプラザ・東」です。見守り活動の他には、昼食会や若い世代・子どもも楽しめるふれあい炊事遠足等のイベント活動を中心に地区の親睦を図ってきました。

しかし新型コロナウイルス感染症の流行により、例年実施している行事の多くが中止になりましたが、令和 3 年度は高齢者が自粛生活の中で夜間も安全に買い物や外出時が行えるよう反射材付きのエコバックを見守り訪問時に配付する等、かたちを変えて活動を継続していました。



東地区福祉のまち推進センター
会長 大沼 幹夫氏



反射材付きエコバック



▲東地区健康増進サロンのようす
お茶で水分補給!おしゃべりに花が咲きます

東地区健康増進サロン

月2回 第1土曜日 14時～
第3水曜日 11時～

[場 所]
東北・東地区会館
(中央区大通東 6 丁目 12)

[問い合わせ]
011-241-1696
(東北・東まちづくりセンター)

また令和 3 年 10 月には、まちづくりセンターとともに会館が東北・東会館内へ移転し、福まち室を新たに設置し、打ち合わせ等が行われるスペースができました。令和 4 年 11 月からは地区内の高齢者の参加できる「東地区健康増進サロン」が再開。おしゃべりや体操などの

活動を月 2 回実施しています。令和 4 年度も見守り訪問時に活用できるグッズの作成を福まちで検討し、議論を重ね、福祉推進員が訪問時に着用するジャンパーを制作しました。昨年に続き、「ぬくもりプラザ・東」の愛称入りです。ジャンパーは見守り活動等で活用されています。



見守り啓発用ジャンパー

見守り啓発中



▲準備万端!見守り啓発用ジャンパーを着て活動を行いました。



令和 5 年度は地区内の各行事が再開される予定ですが、コロナ禍での活動を経て、行事以外にも新たなグッズを使った福まち活動の周知

が加わったことにより、東地区の福まち活動が着実に前に進んでいます。